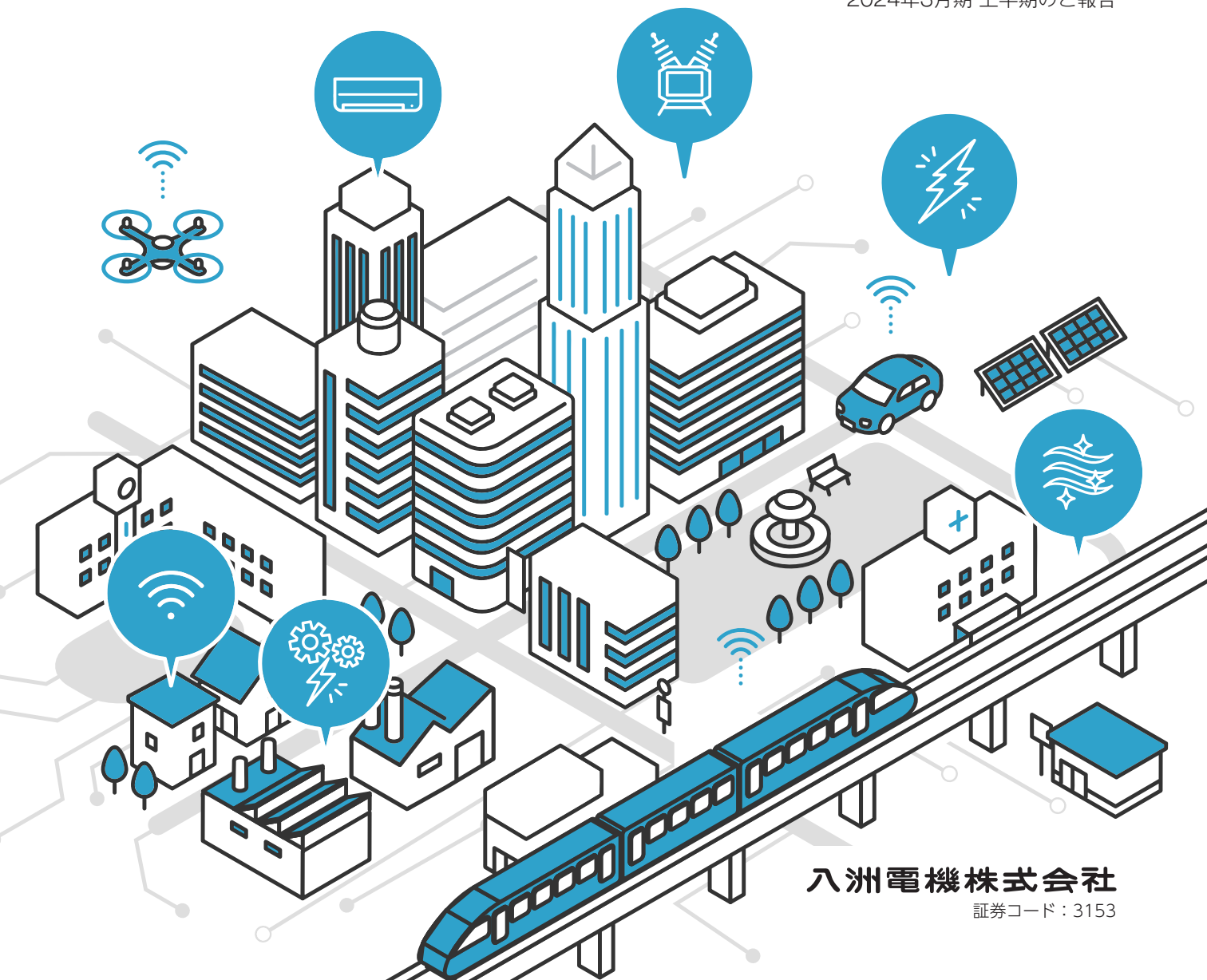






代表取締役社長兼COO

清宮 茂樹

経営理念

「信・愛・和」

信は、「社会に信用・信頼される会社」

愛は、「社会に奉仕する会社」

和は、「社会に協力・協調する会社」を表します。

経営ビジョン

クオリティの高いサービスを通じ
お客様とともに価値を創造するベストプランナーとして
環境配慮型社会に貢献する

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第80期上半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）における営業の概況及び決算の内容等についてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、堅調な企業収益等を背景に、企業の設備等においてはデジタル化・脱炭素化の潮流により増加傾向にあり、景気は緩やかに回復する一方、原材料価格や物価の上昇、世界的な地政学リスクが高まるなど、依然として景気回復への懸念が残る状況にあります。

そのような状況の中、当社は八洲ブランドである「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術の強みを活かしたソリューションエンジニアリング力でお客様の経営課題を解決し、収益力向上と事業規模拡大を図っております。

今後も、カーボンニュートラルに向けた取組みの加速やデジタルテクノロジーの急激な進展等、当社を取巻く事業環境の大きな変化に柔軟かつ迅速に対応し、グループ全体の一層の連携強化により、地球環境保全と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

また、当社は今年で創立77周年を迎えました。3年後の創立80周年に向け、より一層八洲電機グループの総力結集によるグループシナジーを発揮し、持続的な企業価値向上の実現に向け着実に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

The Power of YASHIMA

ビジネススタイル

当社は、エンジニアリングで社会インフラに携わるお客様の経営課題解決に貢献します。経営課題を把握し解決するために、営業とエンジニアが連携して、コア技術／エンジニアリングフロー／コーポレートインで、お客様の環境・省エネ・高効率化等の多様なニーズにお応えします。

当社のエンジニアリング力を活かしたビジネススタイルについて紹介します。



コア技術

3つのコア技術で、お客様の多様なニーズにお応えします。

「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の八洲ブランドである3つのコア技術で、「安全」「安心」等を社会に提供します。お客様の多様なニーズに最適なソリューションを提供します。（詳細はP3へ）



エンジニアリングフロー

様々な産業のお客様に一貫したサービスを提供します。

製品を販売するだけではなく、コア技術とともに、プレエンジニアリング・設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供します。



コーポレートイン

専門技術者を常駐させ、お客様目線で最適なソリューションを提供します。

当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。これにより、お客様のニーズや課題に対して迅速な対応を実現できます。



八洲電機グループは、八洲ブランドである3つのコア技術で「安心」と「安全」をソリューションで提供します。プレエンジニアリングから設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供し、『地球環境保全』と『持続可能な社会』の実現に貢献しております。



電機制御システム

鉄鋼・エネルギー・ガス・化学分野等のプラント設備構築に最先端の技術でお応えします。

PLC※の活用に強みを持ち、当社で制御プログラムを設計・製作、グループ会社で制御盤を製作して、細かなニーズにお応えします。設備の安全性向上・生産性向上に貢献しています。

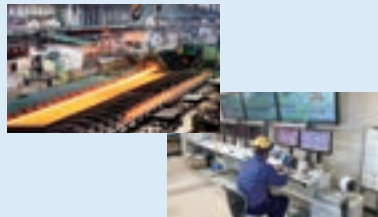
ビジネスフィールド

鉄鋼・エネルギー・ガス・化学・非鉄金属関連のプラントや、公共水道施設、一般産業分野 等

システム技術

PLCシステム・製品自動搬送システム・ドライブ装置・高圧ダイレクトインバーター・監視制御装置・計測制御システム・水処理設備 等

※PLC: Programmable Logic Controllerの略、制御装置



電源システム

最適な電源ソリューションを提供し、電気の安定供給・省エネに貢献します。

特高・高圧受変電設備、非常用発電設備等でエンジニアが一貫して対応し、最適な電源ソリューションを提供しています。工事においても、安全で質の高い施工を実現しています。

ビジネスフィールド

鉄鋼・エネルギー・ガス・化学・非鉄金属・医薬品等の工場、鉄道施設、オフィスビル・商業施設 等

システム技術

特高・高圧受変電設備・配電設備・自家発電設備・鉄道直流変電設備・無停電電源装置・再生可能エネルギー・電力監視制御システム 等



空調システム

最新の知識と高い技術力で、安全・安心・快適な環境をお届けします。

ビル・工場の一般空調システムからデータセンターや医療・研究施設用クリーンルーム等の特殊空調まで幅広く提供しています。CO₂削減等様々なニーズに応じた最適な環境構築に貢献しています。

ビジネスフィールド

病院・介護施設、大学・研究施設、工場、データセンター、オフィスビル・商業施設、鉄道施設 等

システム技術

一般空調設備・冷蔵・冷凍室の低温設備・クリーンルーム・バイオハザード対策施設等の特殊空調設備・冷熱源設備・圧縮空気設備・データセンター用高顕熱空調設備 等



八洲電機グループは、鉄鋼・エネルギー・化学・医薬品・鉄道等の幅広い業界のお客様とお取引をしております。「プラント」「産業・設備」「交通」の3つのセグメントで、より業界ごとのニーズに即したソリューションを提供してまいります。



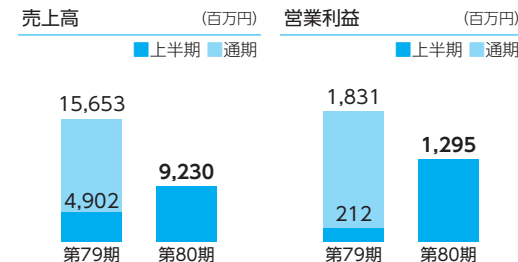
プラント事業



鉄鋼・エネルギー・ガス・化学等のプラント分野にエンジニアリングで貢献

事業内容 鉄鋼・非鉄金属分野では各種電機制御システムの構築や、お客様のカーボンニュートラル実現に向けた各種ソリューションを提供し、石油・化学・ガス分野では発電・受配電設備等から、電気計装、監視制御等に至るまで幅広いニーズにお応えしています。

主要取扱製品 電機制御、発電設備、電源設備、生産管理システム、省エネ・環境技術を活用したグリーン製品、これらに関わる保守・メンテナンス 等



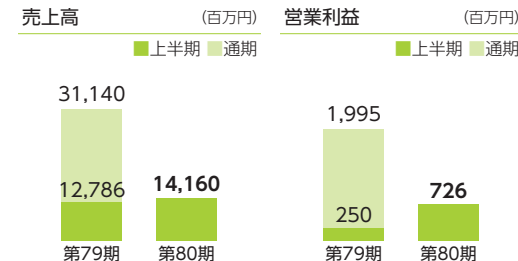
産業・設備事業



医薬品・紙パルプ・精密機器・建設・公共工事等の幅広い業界に貢献

事業内容 幅広い産業のお客様に、受変電設備、空圧設備、空調・冷熱設備等のユーティリティ設備、産業機器全般及び情報・環境製品・システム、業務用空調機やLED照明等を提供し、持続可能な社会の実現に貢献しています。

主要取扱製品 空調設備、照明設備、受変電システム、セキュリティシステム、これらに関わる保守・メンテナンス 等



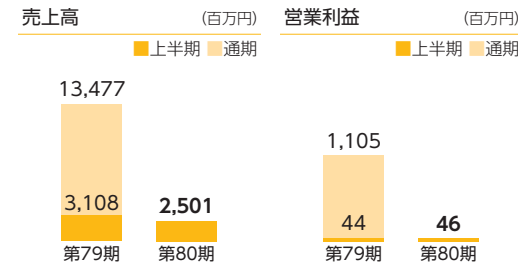
交通事業



鉄道業界の「車両」「変電」「信号・情報」「機械・設備」分野にエンジニアリングで貢献

事業内容 鉄道の安全・安定輸送、サービスを支える車両や設備等の提供からアフターサービスまで幅広く対応するとともに、鉄道事業者が運営する各種事業(不動産・ホテル・流通・福祉事業等)に、設備機器、情報・環境製品等を提供しています。

主要取扱製品 車両及び車両電気品、車両改造、鉄道受変電システム、鉄道信号システム、駅設備、車両基地設備、運行情報システム、これらに関わる保守・メンテナンス 等



— 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 2023年3月31日現在	当上半期 2023年9月30日現在
資産の部		
流動資産	45,872	33,645
固定資産	12,865	12,878
有形固定資産	8,306	8,198
無形固定資産	216	168
投資その他の資産	4,341	4,511
資産合計	58,738	46,523
負債の部		
流動負債	32,881	20,433
固定負債	1,464	1,291
負債合計	34,346	21,724
純資産の部		
株主資本	24,258	24,408
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,053	1,071
利益剰余金	22,180	22,274
自己株式	△562	△523
その他の包括利益累計額	△55	195
非支配株主持分	189	195
純資産合計	24,392	24,798
負債純資産合計	58,738	46,523

— 連結損益計算書

(单位：百万円)

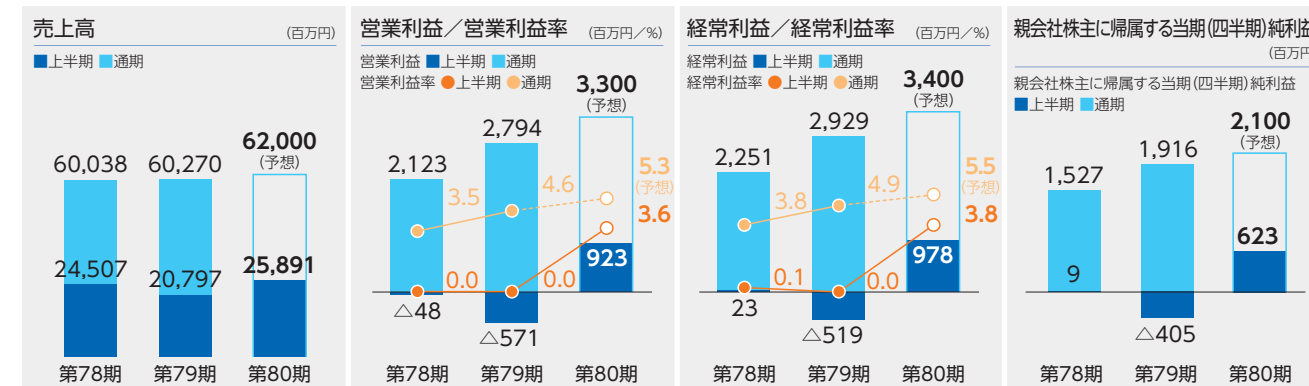
科 目	前上半期	当上半期
	自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日	自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日
売上高	20,797	25,891
売上総利益	3,563	5,257
販売費及び一般管理費	4,135	4,333
営業利益又は営業損失(△)	△571	923
営業外収益	55	57
営業外費用	3	1
経常利益又は経常損失(△)	△519	978
特別利益	52	0
特別損失	66	21
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△533	957
法人税等合計	△125	331
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△407	626
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△405	623

— 連結キャッシュ・フロー計算書

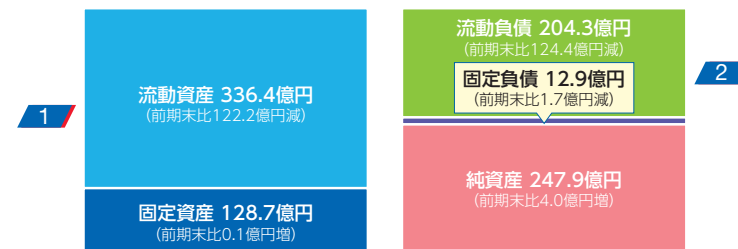
(单位：百万円)

科 目	前上半期	当上半期
	自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日	自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△99	△1,773
投資活動による キャッシュ・フロー	9	△72
財務活動による キャッシュ・フロー	△623	△758
現金及び現金同等物の増減額	△713	△2,605
現金及び現金同等物の期首残高	10,567	11,332
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,854	8,727

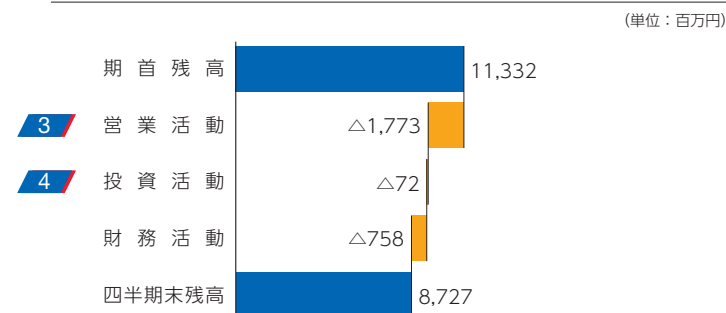
財務ハイライト



— 資産の状況



■ キャッシュ・フローの状況



ポイント解説

1 流動資産 前期末に比べ122億27百万円減少。
(主な要因) 現金及び預金26億46百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産109億44百万円減少。

2 流動負債 前期末に比べ124億48百万円減少。
(主な要因) 支払手形及び買掛金104億50百万円減少。
 未払金15億34百万円減少。

3 営業活動によるキャッシュ・フロー

17億73百万円のマイナス（前年同期は99百万円のマイナス）。
（主な要因）マイナス要因として、仕入債務の減少額105億72百万円、未払金の減少額15億52百万円。
プラス要因として、売上債権の減少額96億35百万円。

4 投資活動によるキャッシュ・フロー
72百万円のマイナス(前年同期は9百万円のプラス)。
(主な要因) マイナス要因として、有形固定資産の取得による支出33百万円。

— 連結経営指標の推移

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期(予想)
受注高	29,761	56,358	34,246	65,851	32,382	69,398	40,313	—
売上高	24,107	59,194	24,507	60,038	20,797	60,270	25,891	62,000
経常利益	45	2,314	23	2,251	△519	2,929	978	3,400
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	4	1,571	9	1,527	△405	1,916	623	2,100
純資産額	20,324	21,969	21,644	23,046	22,023	24,392	24,798	—
総資産額	52,496	53,308	44,491	50,934	44,005	58,738	46,523	—
有利子負債	733	1,123	1,311	1,251	1,281	1,241	1,021	—
1株当たり純資産額(円)	933.41	1,021.38	1,005.02	1,070.92	1,029.90	1,141.83	1,158.56	—
1株当たり当期(四半期) 純利益(円)	0.21	73.22	0.44	71.63	△19.01	90.10	29.41	98.95
自己資本比率(%)	38.30	40.80	48.18	44.85	49.60	41.20	52.88	—
ROE(%)	—	7.43	—	6.85	—	8.15	—	—
ROA(%)	—	2.85	—	2.93	—	3.49	—	—
従業員数(人)	1,007	1,004	1,006	990	994	980	986	—

(単位：百万円)

中期経営計画(2020～2024年度) 活動方針

当社グループは、2020～2024年度の事業運営の指針となる中期経営計画を策定し、下記のとおり取組んでおります。
事業環境の変化に迅速に対応し、更なる「事業規模拡大」と「収益力の向上」を実現するため、当社グループ一体で成長戦略を推進してまいります。

ビジョン

高度情報化時代に対応し、社会に貢献する「エンジニアリング会社」として、
付加価値の高い技術・サービスを提供し、

お客様とともに未来を創る。

基本戦略

- ① 八洲独自の「エンジニアリング会社」の推進を図る。

② ビジネスパートナーの拡大及び新規商材を創出し事業規模の拡大を図る。

③ M&Aを実施しエンジニアリング力の強化及び事業規模の拡大安定を図る。
- ④ 八洲電機グループ力強化によるビジネスチャンスの拡大を図る。

⑤ ワークスタイル変革により生産性の向上を図る。

⑥ コンプライアンス及びCSR活動を推進する。

重点戦略

- ① 顧客戦略:顧客の投資に対しエンジニアリングで貢献し「収益の拡大」を図る。

② 地域戦略:顧客の戦略投資エリアの攻略をし「事業規模の拡大」を図る。

③ グループ戦略:総合エンジニアリングの創出による「収益の拡大」を図る。

④ コストマネジメント戦略:エンジニアリングを中心としたコスト最適化による「収益の拡大」を図る。
- ⑤ ● 営業戦略:新たな販売・製品パートナー創出による「事業領域の拡大」と「収益の拡大」を図る。

● 技術戦略:コア技術を時代の変化に適応・成長させ「事業領域の拡大」と「収益の拡大」を図る。

目標値 2024年度(2025年3月期)

連結売上高 **700億円**、連結経常利益 **35億円**、経常利益率 **5.0%**

【第8回鉄道技術展2023 Mass-Trans Innovation Japan 2023】に出展しました！

2023年11月8日(水)～11月10日(金)の3日間にわたり幕張メッセで開催された「第8回鉄道技術展2023 Mass-Trans Innovation Japan 2023」(産経新聞社主催)に出展しました。

本イベントは鉄道関係者を対象に、あらゆる鉄道分野の技術が横断的に会する総合見本市で、3日間で34,878名(催事全体)の方が来場し、盛大なイベントとなりました。

そのような中、当社は『効率化ソリューション』をテーマにパネルやデモ機等を展示し、「省力」「省人」「省エネ」の実現に向けた、当社のエンジニアリングによる付加価値の高い製品・サービスを広くPRしました。

今後も、鉄道業界の「車両」「変電」「信号・情報」「機械・設備」分野にエンジニアリングで貢献し、鉄道の「安全」「安心」「快適」を支えるインフラの整備・構築に取り組んでまいります。



仙台空港に広告看板を掲出しました。

当社は、航空保安システムを手掛けた仙台空港に、2023年10月1日より広告看板を掲出しております。

仙台空港2階 国内線出発ロビー西側のチェックインカウンター付近にありますので、仙台空港をご利用の際はぜひご覧ください！



【中国支店】を移転しました。

2023年9月25日、中国地区の取纏めを行う中国支店が移転し、新事務所での業務を開始しました。

当社は、より快適な執務環境に整備することにより、社員のモチベーションやエンゲージメントを高めるため、中国支店開設60周年を機に、事務所を移転しました。また、中国地区のグループ会社も同じ事務所に移転し、ワンフロアに集まることで、グループシナジーを更に発揮してまいります。



ビル外観

当社社長が「生産性新聞」に掲載されました。

公益財団法人日本生産性本部様が発行する2023年10月25日付の「生産性新聞」に、当社代表取締役社長兼COO清宮茂樹のインタビュー記事が掲載されました。

事業の概要や強み、キャリアの転機になった出来事、社長就任後の取組みや今後の課題などが掲載されております。当社ウェブサイト、IRニュース内に記事を掲載しておりますので、ぜひご確認ください！

▶ 八洲電機ウェブサイト「IRニュース」
<https://www.yashimadenki.co.jp/ir/news>

(2023年9月30日 現在)

＝ 会社の概況

商 号	八洲電機株式会社 Yashima Denki Co., Ltd.
創 立	1946年8月8日
資 本 金	1,585百万円
従業員数	連結986名(単体515名)
本 社	〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号

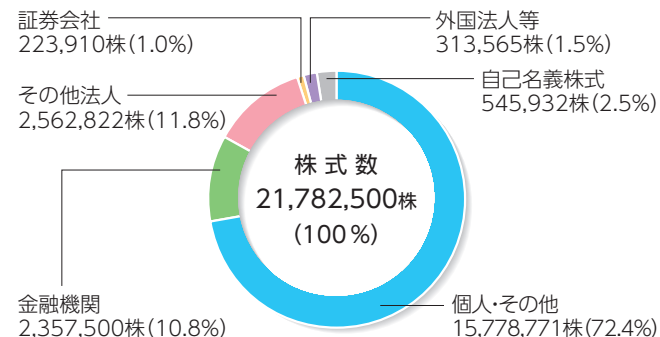
＝ 主要拠点

本 社	〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号
エンジニアリング セ ン タ ー	〒105-0014 東京都港区芝三丁目14番4号
	〒541-0042
関 西 支 社	大阪府大阪市中央区今橋三丁目3番13号 ニッセイ淀屋橋イースト4F
	〒730-0041
中 国 支 店	広島県広島市中区小町1番25号 ビル博丈平和大通り4F
	〒710-0824
岡 山 支 店	岡山県倉敷市白楽町249番地5 倉敷商工会館3F
各 事 業 所 等	茨城営業所、千葉営業所、京浜営業所、堺営業所、倉敷営業所、水島事務所、福山JFE構内事務所、福山営業所、東予事務所、周南営業所、福岡営業所、大分営業所
グループ会社	■ 八洲ファシリティサービス株式会社 ■ 八洲産機システム株式会社 ■ 八洲制御システム株式会社 ■ 八洲E Iテクノロジー株式会社 ■ 株式会社中国パワーシステム ■ 株式会社西日本パワーシステム ■ 八洲プラント建設株式会社 ■ 八洲ビジネスサポート株式会社

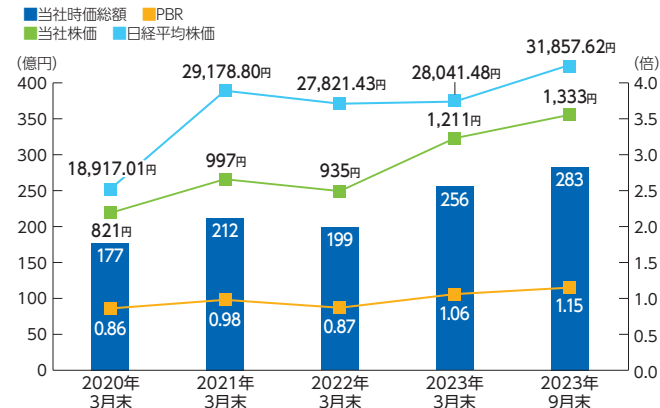
＝ 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000 株
発行済株式総数	21,782,500 株
株 主 数	29,511 名

＝ 所有者別分布状況



＝ 株式関連指標



株主還元(配当・優待) (2023年9月30日 現在)

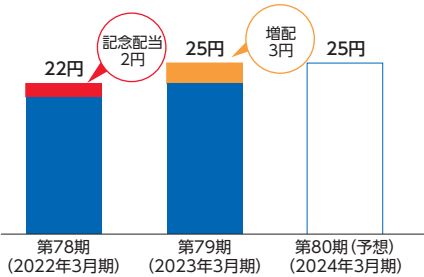
Shareholder Return

株主還元

株主の皆様からのご支援に感謝し、投資魅力を高め、株式を長期間保有していただくため、配当と株主優待制度を実施しております。

配当について

- 権利確定日: 毎年3月末
- 配当金額: 1株当たり25円(2024年3月期予想)



株主優待制度について

- 対象となる株主様: 毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上保有されている株主様
- 優待内容: ■保有株式数と継続保有期間によって「全国共通お食事券／東日本復興支援ジェフグルメカード」を贈呈します。
■継続保有期間の9月末日及び3月末日の株主名簿に、**同一株主番号で、各保有株式数区分以上の株式を保有していることが連続して記載又は記録されていることを条件とします。**
- 贈呈時期: 毎年11月下旬頃の発送を予定しております。

「全国共通お食事券／東日本復興支援ジェフグルメカード」			
保有株式数区分	継続保有期間*		
	1年未満	1年以上3年未満	3年以上
1,000株以上	5,000円分	6,000円分	7,000円分
200株以上 1,000株未満	2,000円分	2,500円分	3,000円分
100株以上 200株未満	500円分	1,000円分	1,000円分

※ 継続保有期間1年以上とは、同一株主番号で9月末日及び3月末日の株主名簿に各保有株式数区分以上の株式を保有していることが連続して3回以上記載又は記録されていることとし、継続保有期間3年以上とは、連続して7回以上記載又は記録されていることとします。

株主メニュー	●上場取引所	東京証券取引所プライム市場	●同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	●証券コード	3153		東京都府中市日鋼町1-1
●事業年度	●定時株主総会	4月1日から翌年3月31日まで	●郵便先	電話 0120-232-711 (通話料無料)
	●基準日	毎年6月		〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
●公告方法	●1単元の株式数	3月31日及びあらかじめ公告する一定の日	(ご注意)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	●株主名簿管理人	電子公告により行います。		
●特別口座の口座管理機関	●株主名簿管理人	公告掲載URL : https://www.yashimadenki.co.jp/	1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	●株主名簿管理人	※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		
●株主名簿管理人	●株主名簿管理人	100株	2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	●株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		